

東久留米の1月から3月に観察した鳥以外の生きものNo.1



タテハチョウ科キタテハ



タテハチョウ科キタテハ



タテハチョウ科テングチョウ



タテハチョウ科テングチョウ



タテハチョウ科ルリタテハ



タテハチョウ科ルリタテハ

※キタテハやテングチョウ、ルリタテハは冬の間は成虫で越冬する蝶の仲間であり早い時期から観察できる。

※キタテハ:2月20日南沢緑地、3月16日野火止用水沿いで観察。毎年一番早く観察する蝶の仲間。

※テングチョウ:3月20日市内の緑地で観察したが生育数は少ない。動きが素早い事もあり写真撮影が難しい生きものの一つ。

※ルリタテハ:2月20日市内河川で観察。普段は緑地内で見かけることが多く、春先の温かい日差しを浴びて河原に飛んできた模様。

東久留米の1月から3月に観察した鳥以外の生きものNo.2



ミノガ科オオミノガ未同定



ミノガ科ネグロミノガ未同定



ミノガ科ネグロミノガ未同定



シャクガ科ウスベニスジナミシャク



イトトンボ科ホソミイトンボ



サナエトンボ科コオニヤンマのヤゴ(左上)

オニヤンマ科オニヤンマのヤゴ(左下・右)

※ミノガ科:オオミノガ(1月11日観察)は蓑(ミノ)の大きさは50mm以上と大型。ネグロミノガ(1月17日と3月2日観察)は蓑の大きさは20mm程。

※ウスベニスジナミシャク:2月17日観察。ガの仲間は種類が多く個人では初めて観察したガの仲間。

※ホソミイトンボ:3月7日観察。成虫で越冬する3種類のトンボの内の1種類。黒目川の上流で観察。体長は目測で40mm程。

※コオニヤンマ・オニヤンマのヤゴ:3月21日市内河川で観察

東久留米の1月から3月に観察した鳥以外の生きものNo.3



ヒゲナガカワトビケラ科
ヒゲナガカワトビケラ



クサカゲロウ科クサカゲロウ
の仲間



ヒシバッター科ハネナガヒシバッター



コガネムシ科カブトムシの幼虫



テントウムシ科ナナホシテントウ



テントウムシの集団

※ヒゲナガカワトビケラ:2月24日観察。主に河川に生息している。体長は30mm前後で同程度の長いひげを持っている。

※クサカゲロウ:1月11日観察。公園の日当たりの良い場所にあったクズの枯葉の上にとまっていた。※ハネナガヒシバッター:3月14日観察。河川敷で野草の観察時に小さな生き物が目に留まり撮影。※カブトムシの幼虫:3月12日観察。落葉溜めの腐葉土の中で丸々と太った幼虫を観察。

※ナナホシテントウ:3月16日。同種は3月に入ると観察できるようになる。写真の植物は順にオニノゲシ。

※カメノコ TENTU とナミ TENTU の集団: 1月14日と2月14日観察。倉庫の一角に身を寄せていたカメノコ TENTU とナミ TENTU などの越冬集団。

東久留米の1月から3月に観察した鳥以外の生きもの No.4



ナミ TENTU の集団



テントウムシ科カメノコ TENTU (10mm前後)



ヨコバイ科ツマグロオオヨコバイ



サシガメ科ヒゲナガサシガメ幼虫



ハナアブ科アシフトハナアブ



ビロウドツリアブ科ビロウドツリアブ

※ツマグロオオヨコバイ: 3月24日観察。この個体は越冬型の成虫と思われる。撮影時など危険を感じて葉の裏側へ素早く身を隠すところがユニーク。

※ヒゲナガサシガメの幼虫: 1月6日観察。保全活動時「ナナフシ」の仲間と思い撮影したところ「ヒゲナガサシガメ」の幼虫と判明。自身では初観察。

※アシフトハナアブ: 3月16日観察。色々な花に集まる事が多いが水を吸いに立ち寄ったのか干上がった川で観察。右上はオランダガラシの新芽。

※ビロウドツリアブ:3月20日観察。3月から6月頃にかけて現れ夏ごろには見られなくなるアブの仲間。全長10mm程で落花生のような形が可愛い。

東久留米の1月から3月に観察した鳥以外の生きものNo.5



ミツバチ科ニホンミツバチ



コモリグモ科ウズキコモリグモ



メナシムカデ科セスジアカムカデ



アメリカザリガニ科アメリカザリガニ



サワガニ科サワガニ



ヌマガメ科アカミミガメ

※ニホンミツバチ:2月25日観察。ニホンミツバチ(体長13mm程度)はセイヨウミツバチに比べて一回り小型で全体に黒っぽい。

※ウズキコモリグモ:3月16日観察。体長は10mmにも満たない程。動きが素早く危険を感じると草や落葉などの陰に身を隠すため撮影が難しい種。

※セスジアカムカデ:3月9日観察。林床の廃材などの下に身を寄せていることが多い。やはり動きが素早く撮影可能なのは数回に一度程度。

※アメリカザリガニ:3月9日観察。2023年6月1日から『条件付き特定外来生物』に指定。川や池などの野外に放すなどの行為が法律で禁止される予定。
※サワガニ:3月21日観察。日本固有の淡水性のカニ(体長は足を含めると大きなもので70mm程)。市内では春3月頃から晩秋にかけて観察可能。
※アカミミガメ:2月27日観察。アメリカザリガニ同様2023年6月1日から『条件付き特定外来生物』に指定。川や池などの野外に放すなどの行為が法律で禁止される予定。カメと一緒に泳いでいる魚類は「コイ」と「オイカワの稚魚」。

東久留米の1月から3月に観察した鳥以外の生きものNo.6



ヤモリ科ニホンヤモリ



カナヘビ科ニホンカナヘビ



アカガエル科ウシガエル



アカガエル科ウシガエル

※ニホンヤモリ:2月17日観察。木杭の間に2匹のヤモリとその後ろにヤモリの卵(長径15mm程)の殻がみえる。産卵期は5月から7月頃。

※ニホンカナヘビ:3月12日観察。気温が温くなる3月から11月の晩秋頃まで草むらや雑木林などで観察できる。

※ウシガエル:1月29日と2月24日観察。外来生物法で『特定外来生物』に指定。市内の黒目川や落合川などで鳴き声が聞こえることもあり、数年前には南沢湧水池でも複数の幼体を確認している。